

情勢報告（令和元年5月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

オリエンタル系ユリの産地拡大を目指して～産地交流会の開催～



生育状況を見ながら意見交換

4月18日とされいほく Confidence Flower（生産部会）は、産地間の情報交換を目的として交流会を開催し、安芸市ユリ球根部会の生産者の現地ほ場を巡回して意見交換を行いました。

安芸の生産者からは、新品種の特性や球根養成時の生育状況の違いなど、情報提供を受けました。

Confidence Flower のメンバーからは、「導入したい品種の情報が得られ、実際に栽培方法を見ることができたので役立った」との声が聞けました。

今後も普及所は JA と連携し、夏期の生産に適した品種について調査し、栽培技術の向上を目的とした産地交流会などの開催を支援していきます。

農福連携による労働力確保に向けて～(株)れいほく未来の労働力確保検討会～



米ナスを見学する職員等

4月23日、普及所で農福連携による農作業の担い手確保の検討会を開催し、(株)れいほく未来、嶺北管内就労継続支援B型事業所、土佐町、農業会議、普及所から職員及び利用者12人が参加しました。

始めに普及所から(株)れいほく未来の取組と協力が必要な農作業等について説明し、(株)れいほく未来が事業所からの質問に答える形で進行了ました。その後、ほ場や調整場所等を見学し理解を深めました。

事業所からは「農作業の日程や時間帯を教えてほしい」「調整・荷造り作業を事業所で出来ないか」「資料が分かりやすく、作業が具体的にイメージできた」などの質問や感想が出ました。

今後も普及所は、農福連携による地域内労働力の活用について支援していきます。

今年も力を合わせて頑張るぞ！～伊勢川集落営農推進委員会～



今後の作業予定について話し合う組合員

4月23日、土佐町伊勢川集会所にて、伊勢川営農組合の集落営農推進委員会が開催され、組合員9人が参加しました。

水稻の作業受託の実施状況、ウメやチョロギの栽培・加工品の販売状況を確認し、今後の取組を検討しました。

普及所はウメやチョロギの防除方法や追肥等の栽培管理について説明しました。特にウメについては、生育に影響する病気防除の重要性について指導しました。

今後も普及所は、組織活動を支援するとともに、栽培管理が適期に行われるよう指導していきます。

中山間地域の農業法人の経営改善～経営コンサルの実施～



経営の専門家に相談

4月25日、本山町にある（株）カワムラファームの2人を対象として、昨年作成した経営ビジョンを更に具体的なものにするため、経営アドバイザーの派遣による経営コンサルを実施しました。

普及所は、事前に経営計画等の資料作成や関係機関との調整を行いました。

経営アドバイザーから、「計画どおり確実に生産すること、農産物の消費拡大に向けて試食宣伝を実施すること、ほ場ごとに収支を把握すること」など、幅広くアドバイスがあり、経営の方向性がより具体的になってきました。普及所は、今年度も普及対象に位置づけ、活動を支援していきます。

青果ユズの拡大生産を目指して～部会で現地検討会を開催～



篤農家を中心に意見交換
を行う部会員
～他産地に負けない高品質な
ユズを作ろう～

5月7日、JA 高知県れいほく園芸部ゆず部会は、生産者、JA、普及所の計13人が参加して現地検討会を大豊町内で開催しました。

園地で樹の生育状況を確認した後、室内で栽培暦、今後の管理について協議しました。普及所からは、病虫害防除の注意点や、効率的な雑草防除について説明しました。

本年度から青果生産に取り組む部会員に対して、「薬剤散布は葉裏や幹にも十分にかける必要がある」など、篤農家からアドバイスがありました。新入部会員からは、「他の生産者の園地にも行き、栽培技術を学びたい」と意欲的な声が聞かれました。

今後、普及所は青果生産に向けて技術が向上するよう、適期防除等の指導を行うとともに、選果機や予冷库の更新など、生産量の増加に対応できる出荷体制について、関係機関と協議していきます。

篤農家の技術を学ぼう！～カラーピーマン部会現地検討会～



pFメーターの使い方を実演中

5月8日、JA 高知県れいほくカラーピーマン部会は土佐町で現地検討会を開催し、部会員14人が参加しました。参加者は土壌還元消毒や施肥管理などの篤農家の栽培技術を参考にしようと、活発に議論していました。

普及所からは、かん水管理の改善を目的に部会に導入を進めたpFメーターの使用方を説明しました。

生産者からは、「pFメーターの設置場所はどこがいいのか」、「使用する水は水道水でよいのか」などの質問が出されました。

普及所はJAと連携し、かん水管理の徹底や生理障害果対策を指導し、生産者の管理技術と、収量が向上するよう支援します。

新品目開拓！～とさのさとへの出荷品目増加を目指して～



職員の講演を熱心に聞く
生産者ら

5月10日、本山町プラチナセンターでさくら市野菜栽培講習会が開催され、生産者23人が参加しました。

普及所はさくら市への出荷だけでなく、「とさのさと」への出荷品目増加を視野に入れ、事前に「とさのさと」の関係者から情報を聞き、アイスパラントやビーツなど、消費者からの要望の多い品目を紹介し、品目ごとの特徴、作型、品種及び栽培における注意点を説明しました。

生産者からは「過去にビーツを作ったものの、食べ方が分からず圃場に放置してしまった」という意見が出されました。

普及所は要望の多い品目の調理方法や食べ方を認知してもらう方法を検討するとともに、生産者の新品目栽培を支援していきます。

米ナスの増収を目指して～JA土佐れいほく米ナス部会現地検討会～



米ナスの生育や管理状況に
ついて熱心に検討する
部会員

5月16日、JA高知県れいほく米ナス部会は、土佐町で現地検討会を開催し、計8人の生産者が参加しました。

普及所からは、灌水・追肥の適正管理や天敵の活用などを説明しました。参加者からは、毎月土壌分析を実施して適正な施肥量を把握したい、天敵の定着促進のためにタバコカスミカメが付着したクレオメを使ってみたいという声がありました。

普及所は、今後も適期の栽培管理や天敵の利用促進のため、JAと連携して部会活動を支援していきます。